

2026年3月30日
コアレックス信栄株式会社

JTB 静岡県内 8 拠点にて「紙対応」を導入 店舗ごみの完全リサイクルによる業務効率化と地域循環型社会の実現へ

コアレックス信栄株式会社(以下当社)は、株式会社 JTB(以下 JTB)静岡県内 8 つの店舗および支店を対象に、店舗から排出されるオフィス古紙や不要となったパンフレット等をトイレトーパーへリサイクルする「紙対応」の提供を開始いたします。本取り組みにより、分別の手間を省き店舗スタッフの業務負担を軽減するとともに、独自技術を用いた確実なリサイクルにより地域のサーキュラーエコノミー推進に貢献します。

■ 「紙対応」開始の背景と現場の課題

実施に先立ち、当社は JTB の静岡県内 8 拠点(マークイズ静岡店、ららぽーと沼津店、三島イーヨーカードー日清プラザ店、静岡支店、静岡店、藤枝店、熱海店、MEGA ドン・キホーテ富士吉原)において事前調査を実施しました。

その結果、現場スタッフにとって書類のホッチキス外しや窓付き封筒の分別が少なからず負担となっていることが分かりました。また、複数店舗で、お客様や取引先から環境配慮について聞かれる機会が増加しており、店舗運営において環境への貢献を重要視する声が多く挙がっていました。

■ 当社の「紙対応」が提供するソリューション

当社が誇る難再生古紙の溶解処理技術により、金属製のクリップ、ホッチキスの針、窓付き封筒のセロハンなどを事前にはずすことなく、パンフレットや書類に使用した箱のまま安全に溶解・リサイクルすることが可能です。これらにより、JTB 店舗スタッフの皆様の分別や紐縛りといった業務的・心理的負担を大幅に削減します。また、これまで可燃ごみとして焼却されていた紙類を高品質な再生トイレトーパーへと生まれ変わらせることで、無駄のない循環型リサイクルのループを構築いたします。

■ 今後の展望

当社は「紙対応」を通じて、各店舗における紙ごみのリサイクル量を可視化し、店頭での証明書提示や POP 掲示を通じて、来店されるお客様へ環境への取り組みを発信するサポートを行ってまいります。今後も持続可能な地域社会の構築を目指し、様々な企業様へ環境ソリューションを提案してまいります。

■ JTB 静岡支店 支店長様からのコメント

この度、コアレックス信栄様の「紙対応」を静岡県内 8 店舗に導入できたことを大変嬉しく思いま

す。店舗運営において、紙資源の扱いは日常業務の中でも負担が大きい領域でしたが、本取り組みにより分別作業が大幅に軽減され、スタッフがよりお客様へのサービスに注力できる環境が整いました。また、店舗から排出される紙類が高品質な再生製品として地域に還元される仕組みは、私たちが目指すサステナブルな店づくりとも合致しています。今後も地域の皆様とともに、環境に配慮した取り組みを積極的に推進してまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】

コアレックス信栄株式会社 総合企画 宇佐美

t-usami@b-web.co.jp